

事務事業評価シート (評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		成人記念祭開催事業				②事業番号		7608									
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度		年度		○ 設定なし					
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱		計画等		○ その他		法令等の名称		—	
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他							
⑧関連予算科目コード		款		9		項		5		目		4		細目		1	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課						会計		一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 新成人		① 新成人数		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
市広報及び新成人に対しハガキで通知している。成人記念祭を、新成人の実行委員が中心になり、開催・運営を行っている。 一部式典(国歌斉唱・式辞・花束贈呈・祝福激励・祝辞・来賓紹介・祝電披露・新成人の主張) 二部アトラクション(吉本芸人によるステージ)		① 参加者数		人	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
新成人に対し祝福、激励を行い併せて「権利と義務」について考える機会を与える。		① 参加率		%	
		計算式 参加者数／対象者数			
		② 計算式			
③ 計算式					
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
成人記念祭に参加することにより成人としての「権利と義務」の意識がめばえ青少年の健全育成につながる。		政策(章)		1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち	
		施策大(節)		4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします	
		施策中		3 青少年、子どもの健全育成	
		施策小		1 自主活動の支援	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	新成人数	人	764	770	735	763	739	
対象指標②								
活動指標①	参加者数	人	470	485	516	535	518	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	参加率	%	62	63	70	70	70	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	正職員	人	0.22	0.15	0.22	0.22	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
		任期付職員	人	0.00	0.02	0.00	0.00	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	1,767	1,282	1,697	1,697	
		直接事業費	千円	609	605	586	637	
		総事業費	千円	2,376	1,887	2,283	2,334	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	—	
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,376	1,887	2,283	2,334		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新成人に対し祝福及び激励を行うとともに、大人としての自覚を持たせるために始めた。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	式典の流れについては、概ね変わらず行っている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	令和元年度は、新成人が参加しやすくなるよう、式典開催日時を変更し、参加率が向上した。加えて飲酒等によるトラブルも減少した。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

B

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	成人としての自覚を持たせている。大半は、成人としての自覚をもって今後の生活を考えている。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市として、成人に対し「権利と義務」の啓発のために必要である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	対象範囲、新成人のニーズに合っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	市として、成人に対し「権利と義務」の啓発の機会がなくなる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	約7割の参加者(出席率)を得ている。また、啓発も行っている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	式典及び、第二部の内容等の検討を行い参加者を増やすことで、啓発活動の充実を図る
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	新成人を対象とした、事業を行っているところはない。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	式典参加者に負担を望むことはできない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	今年度実施した開催日時の変更により参加率の向上など一定の効果があった。今後も今年度と同様の開催日時とし、効果を確認していく。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など		費用面で、これ以上の削減は難しい。一部の式典は継続して行うが、二部の内容で充実化を図る。 飲酒によるトラブルを防ぐため、警察署と連携を強化する。 新型コロナウイルス感染症対策を実施する。 民法の改正により令和4年度から成人の年齢が18歳となるため、対象者や実施方法を含めて、令和2年度中に成人記念祭の開催方法やあり方を検討する。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		一部の式典だけでは、参加者の増が望めない。交流会的要素を取り入れながら工夫していく。 新型コロナウイルス感染症対策として、会場の定員等の検討、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒及びマスク着用などが考えられる。 民法の改正により、成人の年齢が18歳となることに伴い対象者の範囲、開催時期、成人記念祭のあり方を検討する。			